

土砂災害危険区域等指定に関する住民説明会

栃木県では、土砂災害防止法に基づき、那珂川町における土砂災害警戒区域等指定のための調査を実施しました。この調査結果に関する説明会を土砂災害が発生する危険性が高いとされる地区にお住まいの方を対象に下記のとおり開催いたします。

【第1回】
日時 11月25日(金) 午後7時～
場所 大山田下郷農村活性化施設
対象地区 大山田上郷、大山田下郷、盛泉、谷川、大内、大那地

【第2回】
日時 11月28日(月) 午後7時～
場所 馬頭山村開発センター
対象地区 馬頭、健武、和見、小砂、小口、北向田

【第3回】
日時 11月30日(水) 午後7時～
場所 馬頭山村開発センター
対象地区 矢又、久那瀬、松野、富山

※他の対象地区の説明会に出席いただいても結構です。

問い合わせ
総務課消防交通係 ☎0287-92-1111
建設課土木建築係 ☎0287-92-1118

土砂災害危険箇所基礎調査結果資料閲覧のお知らせ

栃木県による土砂災害防止法に基づく基礎調査の調査結果を広く町民のみならず周知するため、下記のとおり閲覧を実施いたします。住民説明会に参加できなかった方はもちろん、どなたでも閲覧できます。

閲覧期間
11月25日(金)～12月14日(水)
(土・日・祝日を除く)

閲覧時間
午前8時30分～午後5時15分まで
閲覧場所・問い合わせ
鳥山土木事務所 企画調査課

那須烏山市中央1-6-92
☎0287-83-1316
総務課消防交通係 ☎0287-92-1111

「生活のしづらさなどに 関する調査」にご協力を！

「生活のしづらさなどに関する調査」は、在宅で生活のしづらさを感じている方の生活実態やニーズを把握する調査です。12月1日から6日にかけて松野(下仲、城間)地区を対象として町の委託を受けた調査員がご家庭を訪問し、アンケート調査を実施します。皆さまのご協力をお願いいたします。

問い合わせ 健康福祉課社会福祉係
☎0287-92-1119

多重債務者相談強化キャンペーン2011

11月中は無料相談会の開催やラジオCMなど、多重債務者相談強化キャンペーンを行っています。

多重債務無料相談会

①11月16日 午後1時～午後5時
会場：宇都宮市消費生活センター
☎028-616-1547

②11月21日 午後1時～午後5時
会場：小山市消費生活センター
☎0285-22-9282(小山市生活安心課)

③11月29日 午後1時～午後5時
会場：日光市中央公民館
☎0288-21-5151(日光市生活安全課)

※いずれも要予約

「広重紅葉まつり」が開催されます

広重美術館では、入館料を無料・開館時間の延長・美術館のライトアップを行います。ご家族お誘いあわせのうえ、ご来館ください。

日時 11月27日(日)
開館時間 午前9時30分～午後7時30分まで

対象 全来館者
問い合わせ 馬頭広重美術館
☎0287-92-1199



無料開放・時間延長等を実施

栃木県自動車整備振興会南那須支部 マイカー点検教室開催のお知らせ

日時 11月13日(日)
受付 午後1時～
開始 1時30分 終了 3時30分

場所 町商工会館
受講料は無料です。受講者にはマイカーハンドブック、粗品等をプレゼント。

那須南病院(看護師・准看護師)を募集しています

採用予定日 平成24年4月1日
応募資格

- ①平成24年3月に看護師又は准看護師免許の取得見込の方
②看護師又は准看護師免許を取得されている方。

採用人員 看護師・准看護師7人
申込期限 12月16日(金)

問い合わせ 那須南病院総務課
☎0287-84-3911

原子力損害の賠償全般に関するご相談の専用窓口について

福島原子力発電所事故に伴う風評被害等により、営業等の損害を被った場合には、東京電力株式会社に対して賠償を請求することができます。

東京電力福島原子力補償相談室
コールセンター ☎0120-926-404

受付時間 午前9時～午後9時まで
〈県の相談窓口(観光・商工分野)〉
栃木県産業労働観光部産業政策課
☎028-623-3168

相談内容：損害賠償制度の概要、請求手続きの流れなど

観光・商工分野における 個別相談会開催のお知らせ

期日 11月28日(月)、29日(火)
時間 午前9時～12時
午後1時～5時

場所 商工会館2階会議室
申込先 町商工会 ☎0287-92-2249
※予約が必要です。

問い合わせ
町商工会 ☎0287-92-2249
町観光協会 ☎0287-92-5757
町役場商工観光課 ☎0287-92-1116

那珂川町の文化財シリーズ

那須と白河 境界の地

那須と白河は隣り合う身近な地域ですが、それぞれが栃木県と福島県に属しています。さらに栃木県は関東地方、福島県は東北地方であり、鉄道、電力会社、テレビの放送局等、この二つの地域の間には様々な線引きがなされています。

しかし本来、那須と白河は、東北と関東の中間に位置する地理的環境を活かして周辺地域と積極的に交流を図り、密接に関わり合いながら歴史や文化を育んできました。そんな那須と白河の間に明確な境界が生まれたのは、奈良時代の頃です。

奈良時代、律令国家の地方支配が整うと、那須と白河はそれぞれ下野国那須郡、陸奥国白河郡となりました。そして、都から北へと向かう東山道が通り抜け、その境界には白河関が置かれます。

関は軍事・交通の重要な場所に設置され、通行者を取り締

まる施設として、また防衛施設として、律令体制を維持していくうえで大切な役割を担っていました。

蝦夷を抱える国として、蝦夷経営の最前線であった陸奥国。陸奥における様々な政策に必要な人、物などの支援地域である坂東(現在の関東地域の最北の国である下野国。この境界にある白河関は、蝦夷に対する備えでもあったと考えられます。白河関に接する那須郡と白河郡もまた、坂東と陸奥との前線地域、境界となる地域として、大きな役割を果たしていたのではないのでしょうか。

その郡の中核となったのが、郡衙と呼ばれる古代の役所跡です。白河郡の役所は泉崎村に、那須郡の役所は那珂川町にありました。現在ではそれぞれ発掘調査され、関和久官衙遺跡(白河郡衙、那須官衙遺跡(那須郡衙)として、国史跡に指定されています。

やがて律令体制が崩壊すると、白河関も郡衙も、その機能を失います。しかし両地域は「境界の地」として、その後も様々な歴史的局面で意識され、そしてその境界は現在まで続いています。

湯津上館にて開催中の企画展「那須と白河―接圏の地―」では、那須官衙遺跡と関和久官衙遺跡から出土した瓦などを展示しています。

那須と白河、この隣り合う地域に生まれた境界を象徴する遺跡ともいえる二つの官衙遺跡。このような視点で考えた時、那珂川町に住む方々にとって身近で、そして誇れる那須官衙遺跡の持つ重要性和、那須の歴史の奥深さを改めて感じることができるとは、ないのでしょうか。

(なす風土記の丘資料館 学芸員 木村 友美)



那須官衙遺跡出土鏡瓦



関和久官衙遺跡出土鏡瓦 【白河市教育委員会提供】

ぶづいそ

Table with columns for Name (氏名), Parent Name (父母の名), and Residence (住所). Lists names like 市村 凛, 益子 りな, etc.

おくやみ

Table with columns for Name (氏名), Age (年齢), and Residence (住所). Lists names like 西田 敬一, 薄井キミエ, etc.



11月1日現在の人口

Table showing population statistics for November 1st, including male, female, total, and household counts, with a comparison to the previous month.